

てくたさい  
たちの笑顔



県職員として東部児童相談所長などを務め、退職後、静岡市里親会の初代代表に。同センター発足に伴い、昨年から現職。里親の不安解消と里親制度普及に向けた活動に力を注ぐ。67歳。

「センターの役割は、里親は発達障害など

### この人

の課題を抱える子どもを預かることもあり、理想と現実の間で悩む。交流会などを通じて孤立を防ぐとともに、里親を増やすための普及啓発を行っている。

「何が課題か。国は児童養護施設の定員を減らし、里親など

NPO法人静岡市里親家庭支援センター理事長

まなご 真子 さん (静岡市駿河区)  
よしあき 義秋 さん

地域での養育を進める方針。それにはセンターのような支援組織を含め、官民連携による環境の整備が必要になる。静岡が先進例になればと思う。

「里親は足りていない。里親にはさまざまな形があり、子育てを終えた家庭で高校生を3年間だけ預かってもらう事例もある。もっと多くの関心を呼び起こしたい」

◇ 目下の夢は、中山間地に支援「コミュニティー」を形成する「子どもの村構想」の実現という。